

犬の保護・譲渡事業 2018 年度事業報告

広島県内で殺処分対象になったすべての犬の引き取りを続け、2016年4月以来の「殺処分ゼロ」を維持しています。広島県神石高原町内などで犬舎を増設して頭数の増加に対応したほか、飼育環境の改善や安全対策を強化しました。また、新たに岡山県岡山市、奈良県生駒市に譲渡センターを開き、各地の譲渡会に参加するなど、譲渡の促進にも努めました。

本プロジェクトでの殺処分ゼロ継続日数は1000日を超え、譲渡、返還された犬も1300頭以上となりました。

前年に引き続き2度目となる大譲渡会イベント「ブレーメンパーク」でも35団体が参加し、家族との出会いを求めて参加した277頭（犬96頭、猫181頭）の保護動物のうち、214頭（犬65頭、猫149頭）に前向きな相談やトライアルのお申込につなげることができました。

災害救助犬、セラピー犬に加え、獣害から農地を守る「里守り犬」などを育成する取り組みも引き続き行い、3期目となる「ピースワンコ PRODOG スクール」を開校し、トレーニングの専門知識を持つ人材の育成に努めました。

活動を支える資金を調達するため、ふるさと納税制度を活用した寄付のほか、定額を継続的に寄付していただく「ワンだふるサポーター」と「ワンだふるファミリー」の増加に努め、インターネット広告などを積極的に活用したプロモーションを行いました。

ピースウィンズ・ジャパン2018年度犬保護事業会計報告

収入項目	金額(円)
寄付金(会費を含む)	616,301,254
その他事業収入	27,457,579
NPO活動支援交付金	481,071,000
計	1,124,829,833

ワンだふるサポーター、ワンだふるファミリー制度の会費収入、犬保護事業の指定寄付・一般寄付

神石高原町からの業務委託料、犬の引取りや譲渡等の際の収入、PRODOGスクール入学金・授業料・教材費、商品販売、原稿講演料など

ふるさと納税による神石高原町への寄付金の95%(98%)

支出項目	金額(円)
スタッフ人件費	256,105,549
直接事業費	214,305,390
犬舎・事務所維持費	37,123,478
交付助成金	10,079,678
物品購入費	20,437,154
商品仕入高	7,289,692
旅費交通費	15,778,199
ふるさと納税返礼品関連支出	33,599,005
保険料	6,988,351
外注費	44,731,921
その他事務管理費用	186,890,208
犬舎・譲渡センター開設などに係る固定資産購入支出	146,845,575
一般管理費	144,655,633
計	1,124,829,833

保護犬シェルターおよび各譲渡センターの飼育スタッフ、獣医師の人件費

犬養育費、犬医療費、レスキュー犬育成等事業費

犬舎用地および譲渡センターの地代家賃、水道光熱費、通信費、補修費など

他の犬・猫保護団体への交付金助成

犬運搬用のケージ、リード、ボウルや掃除道具などの購入費

鹿ジャーキー・PWJグッズの仕入れ、PRODOGスクール運営経費

国内外旅費、車両維持費

返礼品(地元の米、こんにゃく、はちみつ等)の購入・送付費

ボランティア保険や車両保険、火災保険などの費用

コンサルティング委託、広報業務委託、管理業務委託など

運搬費、会場費、コピー印刷費、図書費、会議費、租税公課、手数料など

スコラ犬舎増設、西山犬舎増設、生駒・岡山譲渡センター開設経費、社用車購入など

指定寄付金等の15%を上限にした一般管理費

*当該報告書は、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンの2018年度(2018年2月1日～2019年1月31日)の決算書に基づく

●主な活動内容

・**どんぐり拾い**：2018 年秋、油木保育所の子ども達に協力してもらい、どんぐりを拾いました。また、提携団体と協力し、拾ったどんぐりの苗木の育成を始めました。

・**神石高原町産返礼品**：ふるさと納税の返礼品として、町内の木材加工業者と協力し、町内産の薪セットを追加しました。

・**事業関係者との連絡調整**：パイロット事業を実施するために、土地所有者や地元林業会社、外部専門家との打ち合わせや現地視察を実施すると共に、地元で自生している樹木を調査し、植樹する苗木の種類を確定させました。また、実際に間伐・植樹をする日程を確定させ、スケジュールを調整しました。

ピースウィンズ・ジャパン2018年度花粉症事業会計報告

収入項目	金額(円)	備考
NPO活動支援交付金	1,300,000	ふるさと納税による神石高原町への寄付金の95%
前年度繰越金	316,189	2017年度からの繰越金
計	1,616,189	

支出項目	金額(円)	備考
旅費交通費	103,636	国内旅費69,406円、花粉症事業打ち合わせアドバイザー神石訪問費用
広告宣伝費	161,780	Facebook広告費用
ふるさと納税お礼関連支出	69,003	ふるさと納税返礼品・運搬費
一般管理費	195,000	指定寄付金等のうち15%を上限にした一般管理費
次年度繰り越し	1,086,770	2018年度に繰越
計	1,616,189	

ピースウィンズ・ジャパン引退競走馬事業 2018 年度事業報告

【主な活動】

●相馬牧場で、一般の方を載せて歩くためのリトレーニング実施

2頭の引退競争馬（ロンギングアリーナ、マウントハレアカラ）が、競走馬時代のように駆け足をするのではなく、一般の方を載せて歩けるようにリトレーニングを実施しました。2018年12月からは、提携牧場である相馬牧場内に電気設備がないため冬の飼育ができないことから、担当調教師1名と馬2頭が南相馬市の馬事公苑に引っ越し、引き続きリトレーニングを実施しました。

最終的に、提携牧場である相馬牧場、および南相馬市の馬事公苑中では、調教師の立会・補佐のもとであれば、調教師以外の一般の方を載せて歩けるようになりました。

次の目標は、普段から慣れ親しんだ環境ではない提携観光施設であるティアガルテンの中でも、安定して一般の方を載せて歩けるようにリトレーニングすることです。

パン引退競走馬事業2018年度事業会計報告

収入項目	金額 (円)	備考
NPO活動支援交付金	1,469,400	
団体負担金	6,391,659	
計	7,861,059	

支出項目	金額 (円)	備考
人件費	4,928,128	調教師1人の給料、法定福利
物品購入費	41,148	事務用品など
交通費	52,703	
その他	2,839,080	馬2頭の飼育費1,096,254円
		馬の運搬費324,000
		広告宣伝費86,676円
		提携牧場外注費1,959,480円
		会議費2,670円
計	7,861,059	